

令和7年度 神奈川県立大磯高等学校 第3回学校運営協議会 議事録

日時 令和8年3月19日(木) 15:00~16:00

場所 本校会議室

出席者

篠田 聡	大磯高等学校 校長
八木 英一郎	東海大学経営学部教授
常盤 健嗣	大磯高等学校PTA会長
小嶋 勝己	大磯町東町区長
辻丸 聖順	大磯町立大磯中学校校長

欠席者

桜田 京子	横浜国立大学教職大学院連携教授
藤本 道成	大磯町政策総務部参事兼政策課長
小澤 香苗	(株)タウンニュース
村上 実樹	(株)SCN 営業部

事務局

副校長、事務長、教頭、教務G(杉山)、進路指導G(小犬丸)、
研究開発G(奥川)、生活支援G(長屋)、生徒会(菊川)、
総務G(芳賀)、研究開発G(佐藤明)(及川)

出席 15名

議事

- 1 校長挨拶
- 2 協議

- ①令和7年度学校目標の達成状況について
- ②令和8年度の教育活動について

教務G

①入学者選抜

- ・志願者数は昨年度より増加(323名→375名)。
- ・最終志願者数も増加(338名→346名)。
- ・グローバル教育や進路実績などが評価され、人気が高まっている。

②多様な学習ニーズへの対応

- ・不登校生徒が全国的に増加し、本校でも同様の傾向。
- ・通信教育の仕組みを導入し、実際に運用した。
- ・通常授業と並行するため負担が大きく、働き方改革とも逆行している点が課題である。

研究開発G

①教育課程・学習指導について

- ・「自分の考えを深める」項目は目標60%に届かず56%だったが、肯定的評価は95%と高い。
- ・「他者の考えに触れて知識を広げる」項目は、教員側の評価は目標達成したが、生徒側は未達(3.5に届かず)。
- ・次年度に向けて、改善するため研究グループで検討を進める。

②指定校事業実施報告書について

- ・本校は県の「グローバル教育推進校」指定の4年目。
- ・授業評価アンケートが大幅に向上し、授業改善の成果が表れている。
- ・3年生保護者の「魅力・特色」アンケートも昨年度より大きく上昇。
- ・英検の校内受験を開始し、276名が受験・88名が合格。
- ・来年度は受験者数・合格率のさらなる向上を目指す。

生徒支援 G

①教育相談

- ・ SC・SSW とともに改善率が高く(92~97%)相談体制は機能している。
- ・ 相談内容は多様化し、特に3年生は進路相談が増加。
- ・ 必要なタイミングでSSWにつなぐ体制強化が課題。

②交通安全指導

- ・ 月1回の交差点指導を継続。夏冬は負担軽減のため3日間に短縮。
- ・ 今年度の交通事故は6件で、すべて自転車が関係。
- ・ 道路交通法改正(青切符制度)を踏まえ、生徒・保護者へ情報提供。
- ・ 服装・マナーに関する地域からの苦情もあり、全職員で指導を徹底。

進路指導 G

①進路意識の醸成

- ・ 進路ガイダンス、大学説明会、先輩講話などを通して生徒の進路意識を高めている。

②学力・進路データの共有

- ・ 模試データを教員・生徒・保護者と共有し、三者面談等で活用。

③個別最適化学習ツールの導入

- ・ トライアルを実施したが、全体導入は時期尚早と判断。
- ・ 模試への意識づけなど、ツールなしで改善できる点も課題。

④年内入試(総合型・推薦型)の増加

- ・ 進路決定の約半数が年内入試で、個別対応の負担が増大。
- ・ 教員が一人ひとりを丁寧に支援する体制強化が必要。

生徒会 G

①学校行事の満足度は非常に高い

- ・ 体育祭 97.8%、文化祭 98.5%。
- ・ 文化祭でキャッシュレス導入、生徒の負担軽減に寄与。

②地域との交流を再開

- ・ コロナで中断していた地域施設の招待を再開。
- ・ 来年度も継続予定。

③部活動は文化部・運動部ともに活発

- ・ 運動部は県大会進出多数。
- ・ 文化部も吹奏楽・放送・研究部などが受賞・大会出場。

④大磯町・麻布大学との連携が拡大

- ・ 有害鳥獣対策の活動に一般生徒も参加。
- ・ フィールドワーク研修に8名参加。
- ・ 探究活動もシンポジウムで発表。

⑤課題

- ・ 大学との日程調整が難しく、参加機会を逃すことがある。
- ・ 生徒が参加しやすい体制づくりが必要。

総務 G

①地域との協働

- ・ 美化キャンペーンは雨天中止。
- ・ 地域合同防災訓練には参加し、有意義な避難体験を実施。
- ・ 国道1号線への一斉避難訓練は雨天で実施できず、来年度に実施予定。
- ・ 生徒防災委員をリーダーとして育成する必要あり。

②PTAとの活動

- ・ 海の日の海岸清掃を継続実施。
- ・ 来年度は参加者増加のため募集方法を工夫。

③学校の魅力発信

- ・学校説明会・授業公開などを実施。
- ・説明会の満足度は高く、入試倍率上昇にも寄与。
- ・今後もHP更新などで魅力発信を強化。

管理・運営

①ハラスメント防止研修

- ・実施は継続しているが、内容が形骸化し意識の定着が課題。
- ・今後は研修内容の工夫が必要。

②働き方改革

- ・月45時間超の時間外勤務者を減らす目標は未達成。
- ・増加はしていないが改善もできていないため、業務見直しなどの継続的な改善が必要。

3 情報共有

- ・文化祭キャッシュレス決済は概ね成功。事前周知で大きな混乱なし。
- ・スマホは授業で活用可。私的利用は禁止。
- ・地域との協働（美化活動・防災訓練）を継続。津波避難の重要性を共有。
- ・自転車の並走が問題。ヘルメット義務化に向け指導強化。
- ・服装改善案（指定タイツ・パーカー、夏のハーフパンツ導入など）。
- ・進路指導では大学の魅力をもっと伝えるべきとの意見。
- ・防災委員をリーダーとして育成すべき。地域危険箇所マップ作成案も。
- ・学校説明会は進路選択に大きく影響。説明内容と実態の一致が重要。
- ・AI教材は全員導入せず。向き不向き・負担増・教員の管理負担が理由。
- ・働き方改革は業務の見直しが不可欠。意識だけでは限界。